

時代祭担う喜び

「尊氏」武者姿勇ましく



延暦武官行進列で堂々と進む中川尊氏さん（東山区三条通東大路付近）—撮影・辰己直史

征夷大將軍の坂上田村麻呂役を担ったのは、堀川高3年の中川尊氏さん（17）―左京区。歴史的背景から時代祭には登場しない足利尊氏にちなんだ名前の若者が、馬に乗って都大路を堂々と進んだ。

尊氏の名は複数の候補から「將軍のようにたくましく」という親族の思いで付けられたが、読み方は「たかし」と読む。室町幕府を開いた足利尊氏は「逆賊」と呼ばれ、その歴史観を反映して時代祭では長く室町時代の列が空白だった。2007年に列が新設されたが、役の名前は足利將軍役となっ

ている。

延暦武官行進列の主将である坂上田村麻呂役はこれまで年配の男性が任されてきたが、「祭りに新風を」と尊氏さんに決まった。30年以上前に務めた祖父の助嗣さん（83）は「足利尊氏も田村麻呂と同じ征夷大將軍。気にせず責任を果たしてほしい」と孫を罵った。尊氏さんは、ほろ貝と太鼓の勇壮な響きで進む列の中心で胸を張り続けた。大役を終えて「いい気分。（大学受験にも）弾みになってほしい」と初々しく笑った。

坂上田村麻呂役・中川さん